
首吊りテレビ

潮賀 雷

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

首吊りテレビ

【Nコード】

N1445L

【作者名】

潮賀 雷

【あらすじ】

様々な時代のテレビに囲まれた少年の話です。
残酷な表現があります。
気を付けてください。

さてはて、僕の家には沢山のテレビがある。昭和の三種の神器と呼ばれたブラウン管の白黒テレビ、3Cの内の一つ、これまたブラウン管のテレビ。勿論1964年の東京オリンピック用に製造されたカラーテレビだ。はたまた近年になって市場を接見している液晶テレビも、勿論ある。テレビ、といったらそれだけでは無くて、携帯電話のワンセグやパソコンを媒体にした物もあるし、まあ、様々ある。なんで捨てないの？なんて聞かないでね。只のがらくた趣味だから。

そう、僕にとっては只のがらくたなんだ。

一般では世界の様々な情報を提供してくれるとっても素晴らしい優れ物で、一般家庭の復旧率も高い。

だけど、なんでがらくたか、て言うかね。

ブウン……

あ、丁度今彼処のテレビがついたでしょ？

ほら、あれだよ、あれ。

白黒テレビ。そうそう、あの映りが悪いやつ。

ガガガッ……ガッ

あー、またあんな音出しちゃって……また修理しなきゃあなあ……

え？変な物が映ってる？

……ああ、そうそう、話を戻そうか。

僕はね、この子達に名前をつけたんだ。

あの白黒テレビが“首吊りテレビ”って言うんだ。

ブウン……

ほら、彼処についたのは“溺死テレビ”

ブウン．．．

あ、あれは“刺殺テレビ”っていうの。

…ん？どうしたの？気分悪そうだね。大丈夫？

あ、そうだね説明しなきゃね。この子達ってね、なんでか知らないけど“死体”を映すんだ。ん？只の録画映像だって？違うよ。

え？なんで断言出来るか？うん、あんまり言いたく無いけどこの子達の名誉の為にも言わなきゃね。

あのね、

ブウン．．．

あ、あれあれ。ほら、壁にかけてある薄型テレビを見て！あれは“撲殺テレビ”って言うってね、…あれ、何顔を背けてるの？取材に来たのはそっちの方でしょ？ちゃんとしてよ。

話を続けるよ、僕のお母さんはね2年ぐらい前にとある暴漢に襲われてねー、慰み者にされた拳げ句殴り殺されちゃったんだ。その時は僕は家で普通に普通の一般家庭にあるテレビでヒーロー物を見てただけどさ、急に画面が暗転してね。血塗れのお母さんが映ったんだ。

最初はそれが誰だか分かんなかったけどねー。ほらあそこの“首吊りテレビ”があるでしょ？あれは昔からあるから事あることに首吊り死体が映ってたんだ。だからその時、分かったんだよ。

“このテレビ達は今しがた死んだ人を映しているんだ”
ってね。

そうそう、聞いてよおじさん！しかもこの子達ってば何回色んなテレビを買ってきてても一回死体が映っちゃうとそれ以降全然普通の映像流してくれないんだよ！まったく、融通が効かないなあ…だからがらくたなんだけどね。

でも捨てるに捨てられなくなっちゃったんだ。がらくただけど愛着湧

いちゃってさ。それにどのテレビ局よりも殺人に限っては情報が早いし。死体しか分かんないけど。

…ねえ、なんでそんなに真つ青なの？体が痙攣してるよ？そんな風だとあつちの“シヨック死テレビ”に映ることになっちゃうけどいいの？

…ああ、ごめんごめん。今のは冗談だよ？

え、何？………。ああ、そうなの。“撲殺テレビ”に映っている女性っておじさんの彼女なんだあ。

うそ？何言ってるの、このテレビに映ってるのは本物だよ！。

ちよつと、五月蠅いよ。喚くなら外でお願い。

この子達は死体しか映さないがらくただけだ僕の大事な暇潰し道具なんだから壊されたらたまんない。

あーもー。

ほら、“撲殺テレビ”に映っている彼女の元に行ってみなよ、丁度今しがたズームアウトしたみたいだし。あの場所、おじさんなら分かるんじゃない？彼女さんの撲殺死体があつたらこの子達がちゃんと“今しがた死んだ死体”を映してるって証明…あ、ちよつと走らないでって…行っちゃった…。

カメラマンさん、どうする？まだあんまりこの子達を撮ってないでしょ？

あれ、取材は終わり？

そっか残念だなあ、また来てね。

今日はとつても楽しかったよ！

ブウン…。

あれ、今度は“首吊りテレビ”か。

ん？カメラマンさん、どうしたの？

お顔が真っ青だよ。

f i n



何となくホラーっぽく。
すみません、やはりオカルト大好きです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1445/>

首吊りテレビ

2010年10月28日03時42分発行